

# 予算審査特別委員会で6年度予算を審査

歳入全般と、市長公室、総務部、財政部、市民部、玉山総合事務所などの歳出を審査

**問** 国際リニアコライダー誘致の現状と、誘致に係る国の姿勢の認識は。

**答** 国などへの要望活動や機運醸成に向けた活動に取り組んでいる。国の動きは鈍いが、国会では超党派の議連の動きも活発化しており、本市も引き続き取り組みを進める。

**問** 女性活躍推進事業で実施している人材育成セミナーの効果と課題は。

**答** セミナー参加者へのアンケートでは、ほとんどが前向きな回答であるが、事業者向けの講座などでは集客数が限定されており、参加者を増やす取り組みが必要である。

## このほかの主な質疑

- ・物価などの上昇局面における市財政への影響と見通し
- ・ふるさと納税の募集と受け入れに係る経費の節減
- ・災害ケースマネジメントにおける民間組織との連携
- ・管理不全空き家の所有者特定の方策と未然防止策



保健福祉部、子ども未来部、教育委員会などの歳出、市立病院の歳入・歳出を審査

**問** こども相談室の相談体制にSNSを活用することだが、内容は。

**答** 国の実証実験事業に応募しており、採択された場合は、チャット機能を活用し24時間体制で相談を受け付けるシステムを導入する予定である。

**問** 小中学校のスクールアシスタントの配置人数は。また、各学校の状況に応じた年度途中の増員の予定は。

**答** 小学校44人、中学校24人を配置している。年度途中の増員は難しいが、巡回指導や指導主事の訪問など、多くの目が行き届く体制づくりに努める。

## このほかの主な質疑

- ・市障がい者福祉計画策定の方向性
- ・動物愛護センター整備の今後の見通し
- ・産後ケア事業の今後の課題
- ・市立病院の経営状況と今後の経営見通し



## 1日目

議長を除く37人の議員を委員とする予算審査特別委員会を設置し、6年度一般会計予算など当初予算議案13件を審査しました。4日間にわたる審査結果は、27日の本会議で委員長が報告しました。

### 6年度当初予算の概要

○一般会計	1213億3000万円	前年度比0.4%	↓
○特別会計	584億1914万円	前年度比0.4%	↑
○企業会計	341億8196万円	前年度比9.8%	↑
合計	2139億3110万円	前年度比1.3%	↑

## 2日目

## 3日目

交流推進部、環境部、商工労働部、農林部などの歳出を審査

**問** いわて盛岡シティマラソンの参加者数の動向と、インターネット以外での参加申し込みの検討状況は。

**答** 5年度は前年度に比べてファンランの参加者は増えたが、フルマラソンは減っている。申し込みの方法がインターネットのみのため、ファクスなどの方法も検討する。

**問** 盛岡南地区物流拠点整備には130億円を超える市の負担が必要だが、人口減少が続く中での必要性の検証は。

**答** 事業者への意向調査で、北東北の物流の中継拠点としての需要が大いに見込めるとの意見が大半であったほか、東北地方の輸送能力の不足は今後も拡大すると見込まれる。

## このほかの主な質疑

- ・盛岡芸妓育成事業の現状と今後の在り方
- ・県央ブロックごみ処理体制検討協議会の具体的検討状況
- ・就職氷河期世代への就労支援事業の実績と課題
- ・新規就農支援事業の実施内容



参加申し込み方法の拡大を

建設部、都市整備部などの歳出、上下水道部の歳入・歳出を審査

**問** 子どもたちや高齢者が利用する公共地下道の照明灯のLED化を計画的に実施しては。

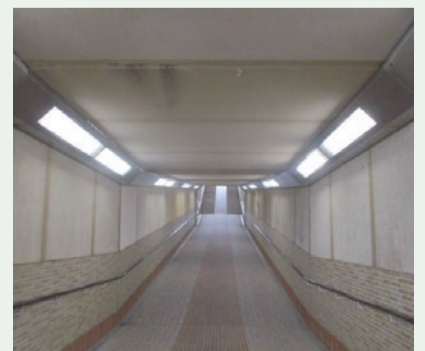
**答** 5年度は、6カ所の地下道の照明灯をLED化した。引き続き、地下道については、早期にLED化できるよう対応していく。

**問** 盛岡南公園スケートボードパーク場の舗装や周辺のフェンスの補修実施予定は。

**答** 舗装が必要と考えているが、約4000万円の費用が必要であり、財源の確保について検討する。また、フェンスなどの危険な箇所は現地を確認した上で補修する。

## このほかの主な質疑

- ・道路交通安全対策の防護柵設置延長と設置箇所の把握
- ・盛岡都市圏地域公共交通計画策定の進捗状況
- ・都市景観審議会の役割と今後の都市計画への関わり
- ・ウォーターPPP導入可能性調査業務委託の内容



照明灯のLED化を

# 常任委員会の審査

各常任委員会を開き、本会議で付託された議案および請願の審査を行いました。審査結果は各常任委員会の委員長が、14日および27日の本会議において報告しました。

## 総務常任委員会

5年度一般会計補正予算、道の駅もりおか渋民の管理を行う指定管理者の指定など議案14件について審査し、いずれも可決すべきものと決まりました。また、請願2件を審査し、1件は不採択とすべきもの、1件は引き続き調査検討を要するため、継続審査と決まりました。

【議案第38号】  
令和5年度盛岡市一般会計補正予算（第8号）

**問** ふるさと納税収入が5年度当初予算額から減額になった要因は。

**答** りんごなど全部で100品目程度の返礼品を国に申請したが、申し込み件数が増える年末までに許可が下りずポータルサイトに掲載できなかったことや、5年10月から寄付を募るための経費が寄付額の5割以下になったため、返礼品にかけられる費用が抑えられ割高感が出てきたことが要因である。

## 教育福祉常任委員会

5年度一般会計補正予算など議案15件について審査しました。審査の過程で、HPVワクチンに係るキャッチアップ接種の周知方法などについて質疑がありましたが、いずれも可決すべきものと決まりました。また、請願2件を審査し、いずれも不採択とすべきものと決まりました。

【議案第38号】  
令和5年度盛岡市一般会計補正予算（第8号）

**問** HPVワクチンのキャッチアップ接種対象者に、接種期限を個別に通知することを検討することだったが、その後の対応は。

**答** 市ホームページや市公式SNSなどで周知したが、個別通知は行っていない。6年度がキャッチアップ接種最終年度となるため、個別通知も含め、高校や大学などに周知の協力を依頼するなどを検討し、できる限り丁寧な説明に努める。

## 産業環境常任委員会

5年度一般会計補正予算、盛岡市飲料水供給施設条例の一部改正など議案7件について審査しました。審査の過程で、資源集団回収報奨金制度の利用状況や飲料水供給施設の利用世帯数と井戸整備に係る利用者負担などについて質疑がありましたが、いずれも可決すべきものと決まりました。

【議案第38号】  
令和5年度盛岡市一般会計補正予算（第8号）

**問** 資源集団回収報奨金交付事業の5年度実績と、コロナ禍で緩和した事業要件の今後の方針は。

**答** 資源集団回収の実施団体は4年度から10団体ほど増加したが、資源回収量は10%ほど減少した。コロナの影響で2年度から5年度までは1回以上の実施でも交付していたが、コロナが第5類感染症に移行したことも踏まえ、6年度からはこれまでどおり3回以上実施した団体への交付とする。

## 建設常任委員会

5年度一般会計補正予算、5年度水道事業会計補正予算など議案10件について審査しました。審査の過程で、自転車安全利用に係る指導強化や啓発、損害賠償事件に係る事故の立証方法や賠償額の根拠などについて質疑がありましたが、いずれも可決すべきものと決まりました。

【議案第38号】  
令和5年度盛岡市一般会計補正予算（第8号）

**問** 法改正で自転車の交通違反の取り締まりが厳しくなるが、高校生や大学生に安全利用の啓発や指導を積極的に行うべきでは。

**答** これまでも高校に出向き自転車走行マナーの啓発や大学付近の路上で自転車走行の指導を警察と協力して行っている。今後は、自転車の事故や違反も交通反則切符の対象となることの周知について、警察の協力を得ながら検討を行う。

# 議会活動レポート

## 常任委員会や特別委員会が調査を実施

1月に実施した委員会の行政視察について、各委員会の委員長に所感を聞きました。  
※枠内は視察項目

### 総務常任委員会

委員長 田山 俊悦

- ・町内会・自治会活動のデジタル化（愛知県豊川市）
- ・移住定住促進施策（三重県津市）
- ・ボランティアインフォメーションセンターなど（奈良市）

本市が取り組むべきは、コロナ禍の後の地域づくりをどうするか。視察では、先駆的取り組みの中で課題として出てきたことを分析し、行政としてどう取り組むかを悩んできた担当者の生の声を聞くことができた。本市の課題や可能性を視察先で議論し、視察後も勉強会を開いた。

### 教育福祉常任委員会

委員長 櫻 裕子

- ・こうち子どもファンド、とさつ子タウン（高知市）
- ・いじめ対策（大阪府寝屋川市）
- ・フリースクール利用児童生徒支援補助金（滋賀県草津市）

不登校の増加により、本市でもフリースクールに通う児童生徒への経済的支援を求める声が高まっている。草津市では月4万円を上限に補助金交付を行い、市外のフリースクールに通う場合も対象としている。広域連携を視野にいたった多様な学びの機会を提供するためのヒントを得た。

### 産業環境常任委員会

委員長 池野 直友

- ・高崎アリーナ（群馬県高崎市）
- ・須坂長野東インターチェンジ周辺地区開発（長野県須坂市）
- ・里山再生計画（長野県安曇野市）

今回の視察のテーマは「産業・物流拠点、環境保全、里山再生、交流推進」だった。須坂市では、本市で取り組む物流拠点のこの先のイメージが湧いた。安曇野市では、ユニークな里山再生・森林保全の取り組みを学び、さらに多くの市産材を利用した「新市庁舎」は圧巻であった。

### 建設常任委員会

委員長 中村 亨

- ・大都市近郊型MaaS（神戸市）
- ・北条まちづくりプロジェクト（大阪府大東市）
- ・下水道事業における包括的民間委託（静岡県富士市）

神戸市の「自動運転／近距離移動サービス（MaaS）」の視察では、降雪の際にはセンサーが誤作動する可能性があるとのこと。本市にこのまま導入するのは難しい。事業の進め方では、行政の中に「民間との橋渡し役」がいて、官民協働の取り組みが成功するというのを感じた。

### 子ども・子育て特別委員会

委員長 小笠原 秀夫

- ・習い事・塾代助成事業（大阪市）
- ・離婚等のこども養育支援（兵庫県明石市）
- ・シェルターインクルーシブプレイスコパル（山形市）

ひとり親や貧困など苦しい環境にいる子どもたちの負の連鎖を断ち切り、誰もが頑張れば良くなれる社会にしたい。明石市では子どもの権利を守るための歩みが一冊の本になっており、私たち議員へのメッセージとして、やるにはこうすればいいという熱意を感じた。

### 農商工連携特別委員会

委員長 浅沼 克人

- ・創業支援・新産業育成（富山市）
- ・Nadec BASE（新潟県長岡市）
- ・農業の6次産業化と地産地消（栃木県宇都宮市）

メインテーマは「連携」。長岡市では、市内4大学1高専、商工会議所など産学官連携によるNadec構想を立ち上げ、ソフト、ハード両面で起業家支援を実施している。宇都宮市では、農協、生産、流通、加工、販売各業者が連携して6次産業化とブランド化を推進している。

### 環境保全対策特別委員会

委員長 野中 靖志

- ・エネルギー政策（浜松市）
- ・とよたエコフルタウン（愛知県豊田市）

浜松市、豊田市で未来型新エネルギー施策を視察してきたが、どちらも本市にそのまま導入するのは難しい。「全庁を挙げた産学官の取組みの中で、それぞれの役割分担を明確にすることが、施策を前に進める重要なポイント」であることが、とても参考となった。

## 市政調査会が定期研修会を実施

2月5日に八幡平市など盛岡広域8市町の議員を交えて研修会を開催しました。（株）KADOKAWA「ダ・ヴィンチ」編集長の川戸崇央氏から『Take a look from space!!「盛岡に生まれ育った自分」という物語の編集者として生きる』と題して、（一社）岩手県障がい者スポーツ協会会長の平藤淳氏から「スポーツの力で盛岡広域圏の未来を～中学生のスポーツを中心に～」と題して、それぞれ講演を聞きました。